

# ◆ 秋田市の交通体系



鉄道	国際コンテナ・国内フェリー	航空
<b>秋田新幹線</b> 秋田駅 ↔ 東京 14往復/日・最速3時間38分	<b>秋田港</b> 韓国 釜山港 5便/週 新潟港 約6時間 敦賀港 13時間(秋田から約20時間)	<b>秋田空港</b> 東京(羽田) 9便/日・65分 大阪(伊丹) 6便/日・85分 名古屋(中部) 2便/日・85分 札幌(新千歳) 4便/日・55分 韓国・ソウル 運休中
<b>JR貨物</b> (中継なし直行) 秋田貨物駅 ↔ 札幌、東京(東京(夕)・隅田川)、新座、名古屋、大阪、福岡ほか(主要駅中継で)全国各地へ	秋田中央IC 北上JCT 新潟中央IC 青森IC	秋田自動車道・秋田中央IC



秋田新幹線こまち



秋田港の定期コンテナ便と定期フェリー



秋田空港

## 自動車

東京IC	約9時間
仙台宮城IC	約3時間30分
秋田中央IC	北上JCT 約1時間40分
新潟中央IC	約5時間30分
青森IC	約3時間



秋田自動車道・秋田中央IC



## 秋田港国際コンテナターミナル

秋田港のコンテナ貨物取扱量の増大に対応するため、平成24年4月、外港地区に新たな「国際コンテナターミナル」が整備され、更なる機能強化に向けた工事も完成したことにより、平成27年からは、年間取扱能力が100,000TEUへと拡大しました。

パナマックスクラス船に対応するガントリークレーンの新設、ヤード内での荷役用トランスファークレーンの導入など、荷役効率の大幅な向上が図られているほか、農林水産省植物防疫所指定の「特A級」のくん蒸施設の新たな設置により、青果物、穀類等の輸入に要する機能も充実しました。

秋田港の国際コンテナ航路は、ハブ港・韓国釜山を經由して、大連、青島、上海といった中国主要港をはじめ、東南アジア、ロシア極東地域、欧州、アメリカ、アフリカ等、世界各地と結ばれており、今後、秋田港が環日本海地域の物流拠点として発展することが期待されています。

